

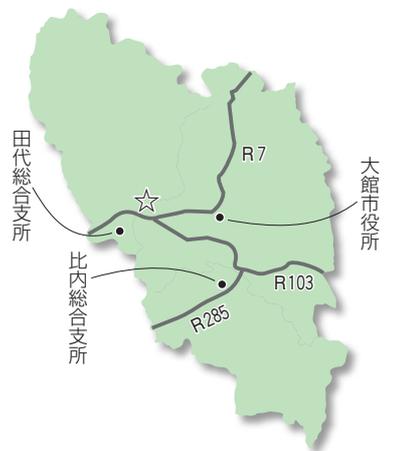


歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

55
市民の皆さんが
たくさん登場

☆今回訪ねたのは
「下川治公民館」
H22. 3. 1取材



お茶の指導をして
くれた佐藤さん



最 近は随分と日が長くなり、場所によってはフキノトウが顔を出したというニュースもありました。日当たりの良いところから、春を告げる使者が順次顔を出してくれることでしょう。とはいえまだまだ寒いこの時期、外を出歩いている人なんぞぞざいませぬ。今回は下川治公民館を訪ね、中で暖か〜く活動されている方々との出会いを求め、突撃インタビューの始まりです。

下 川治地区は、プロレタリア作家「小林多喜二」の生誕の地でも知られていて、地区の皆さんが集う下川治公民館は、JR下川治駅にほど近い場所にあります。講堂からは既にバレーボールに興ずる人達の大きな声が響いていますが、3月といえばやっぱり『ひな祭り茶会』。ってことで、まずはそちらの会場へお邪魔します!!

和 服姿で茶器の準備をしていたのは佐藤正子さん(一心町)。普段はお

茶会の講師をしているとのことですが、卒業を控えた川口小学校の6年生に、中学校へ入学する前に礼節を知ってもらおうと、毎年お手伝いに来ているんだとか。「実は現役当時、長木小学校の教師をしていたんです。当時は木造校舎を建て替え中で、退職前の1年間だけ新しい校舎で過ごしたんです

が、そのときに受け持っていた子が6年生だったの。今日の子どもたちを見てると、なんか昔の教え子のことを思い出しますね」と佐藤さん。

お 話を伺っていると、元気なあいさつとともに部屋にやってきたのは、6年1組の子どもたち。佐藤さんの前に正座したと

たんにぎやかさはピタリとやみ、きちんと話に耳を傾ける優等生に大変身! 「お茶の経験のある人」との問い掛けに、なんと一斉に

手が挙がります。ウム?

これは意外。近くにいた

安部ちよみさん(餅田一

区)と佐藤美里さん

(川口5区)に声を掛

けると「広報ッ!

知ってる。読んだこ

とあるよ」。なー何と

うれしいお言葉!

で、お茶の味はどうだ

った? 「ちよっぴり苦か

ったけどおいしかったです。日本

の文化に触れることが出来て勉強になりました」と、これまた立派なコメントのちよみさん。



いつもおしゃべりしているという
仲良しの美里さん(左)とちよみさん